

和

やわらぎ

仙台市立蒲町中学校
第2学年だより
第7号
令和6年5月22日発行

野外活動終了

5月16日、17日の2日間、南三陸町で実施した野外活動が終わりました。残念ながら、天気には恵まれませんでしたが、予定していた漁業体験、農業体験といった屋外での活動を含めて、すべてのプログラムを予定通りにこなすことができました。お子様方は、たくさんのお土産話を持って帰宅したでしょうか？

2日間を通して、どのプログラムにも一生懸命に取り組む様子や、教えていただいた方々の問いかけへのリアクションなど、いつもどおりの姿を見ることができた一方で、盛り上がった時の気持ちのコントロールや公共の場で集団生活を送る場合の周囲への気配りなど、若干の課題も見えました。

月曜日の解団式では、「これからの学校生活で、来年に向けて中学生として、今以上に正しい判断力を養いなさい。」という話をしました。と言うのも、来年度の修学旅行では少人数での自主研修を行う予定です。今回の野外活動では、どこかで人任せになっていた人も、見知らぬ土地で、しかも少人数で行動する際には、それが通用しなくなってくるということです。今回の野外活動とは比べ物にならないほど、個人の正しい判断力が必要となってくるということです。野外活動や修学旅行といった学校として行く旅行と個人旅行の違いを含め、一人一人のレベルアップが不可欠です。レベルアップするためには、周りからのアドバイスを素直に聞くことが大切だという話も併せてしました。2学年の生徒にとっては課題ですが、我々引率したスタッフにとっては、これからの学年や学級で教えていくことが明確になり、すべてが成果となった実り多い2日間でした。

参加者全員が大きな事故やけがもなく無事に戻ってこられたのは、JTBの添乗員さんをはじめ、南三陸観光協会の方々、ホテル観洋のみなさんの支えがあったからです。野外活動を支えていただいたすべての方々に改めて感謝したいと思います。もちろん、保護者の皆様にも様々なご協力をいただき、感謝に堪えません。本当にありがとうございました。



野外活動の最終的な費用につきましては、精算が終わり次第ご報告いたしますので、もうしばらくお待ちください。